

交通安全通信

第六十号(夏号)

夏の交通安全県民運動

【期間】
令和五年七月十一日

から
令和五年七月二十日までの
十日間です。

運動の重点

① こどもをはじめとする
歩行者の安全確保

② 横断歩行者事故等の防止
と安全運転意識の向上

③ 自転車のヘルメットと
交通ルール遵守の徹底

④ 自分自身と相手を守る
交通ルールとマナーの徹底

交通安全ルール・マナーを
みんなで守って事故0へ！

～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡市清水区興津中町5 2 2-1
フリーダイヤル0120-017-120



しずおか
安全横断

三つの柱

一の柱

「わたります」を伝えよう！
大切なのは運転手さんに
「道路を渡りたい」と伝えること！

二の柱
安全確認をしてから渡ろう！
車は止まっているかな？
近づいてくる自転車はいないかな？

三の柱
横断中もまわりを確認！
いつでもしつかり安全確認しよう

安全確認しよう

「死角」に注意！
運転席から見えない部分を
「死角」といいます。
ドライバーの視線だと左の
写真のように見えるよ。
車のまわりは危険がたくさんある
ので近づかない！



外からみたとき



運転手からみたとき

耳しか見えません

保護者の皆様へ
自宅の駐車場から出庫するとき
に、死角にいても気に付かず
出庫してしまい、接触事故に
なるケースが増加しています。
出庫前にならず
車の前後・下部を確認
しましょう。



外からみたとき



運転手からみたとき

ボードはまったく見えません

交通ルールクイズ
問題1
信号のない横断歩道を、
わたるとき注意することは
何でしょうか？

- 1 止まって「右・左・右」を確認する。
- 2 「右」を急いでわたる
- 3 ななめにわたる

どうしたら安全に渡れるかな？

問題2
自転車は、どの仲間に入るでしょう？

- 1 歩行者（あるく人）
- 2 車
- 3 車いす

問題3
自転車は道路のどちら側を通れば良い？

- 1 左側
 - 2 右側
 - 3 真ん中
- 自転車はなんの仲間かな？
「自転車」という文字に
ヒントが隠されているよ

「地域のお巡りさんより」 清水警察署 交通課 警察官 金岩さんより

「なぜヘルメットをかぶるのか？」
ヘルメットが登場したのは紀元前の話。兵士が頭部を守るために使用されました。

それから二十世紀以上経った現在では、軍用、作業用、乗車用、競技用など、様々な用途に合わせたヘルメットが開発され、使用されています。通学用ヘルメットをかぶって学校に通っていたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
ここでは乗車用ヘルメットに注目します。

オートバイが世に登場したのは二十世紀初頭、日本でも昭和八年に量産・商品化され、当時はヘルメットをかぶる習慣もルールもありませんでした。しかし、バイク人口の増加に伴って死亡事故が増加、また死者の半数が頭部損傷だったこ

とから、昭和四十年にヘルメット着用一部努力義務化、変遷を経て昭和六十一年に完全義務化となりました。

自転車については、平成十六年に、プロ・アマチュア問わず、レースでの着用が義務となっていました。レース中の事故死者の致命傷が頭部だったと考えられたからです。街乗りの自転車にしても、死者の七割近くが頭部に致命傷を負っており、令和五年四月一日から着用努力義務となりました。

電動キックボードは、日本国内では一件の死亡事故が発生しましたが、やはり頭部に致命傷を負っています。世界でも電動キックボードの流行に伴い、死傷者が急増して問題となっています。令和五年七月一日から、特定小型原動機付自転車という新しい車両区分が加わり、免許不要・ヘルメットは努力義務

という謳い文句から、日本でも流行が予想されます。オートバイ、自転車、電動キックボード、それぞれ触れてきましたが、共通して言えることは、死者の多くは頭に致命傷を負ったということです。

ヘルメットをかぶってさえいれば、命を落とすことはなかったかもしれません。そして、そのように亡くなる人を減らすために、着用（努力）義務化へと進んでいるのです。ヘルメットの安全性・有用性を理解し、着用するようにして下さい。

ただし、ヘルメットをかぶることと、交通事故に遭わないことは、別の話です。正しい乗り物に正しく乗る。安全生の高いヘルメットを正しくかぶる。

「夏の事故ゼロ」 キャンペーン

（清水海上保安部）

夏といえは海水浴、だけども気をつけないと海には危険がいっぱいあります。昨年は、お母さんが目を離れたときに2歳児が砂浜の浅いところでおぼれたり、子供だけで海水浴場以外の場所でも泳いでいたら浜に戻れなくなりおぼれています。他にも親子で釣りをしていたところ、子供が海に落ちてしまふ事故もありましたが、この子はライフジャケットを着ていたのでおぼれることなく助けられました。

●海へは大人といっしょに行く
海水浴や海の近くで遊ぶときは、大人といっしょに行きましょう。

●海水浴場で泳ぐ
海は、監視員やライフバーがある海水浴場に行きましょう。また、ライフジャケットを着けましょう。

●立入禁止の場所に入らない
海のそばには立入禁止の場所がありますが、絶対に入らないでください。

●釣りなどのときはライフジャケットを着る
服を着たまま海に落ちると、泳ぎにくくなります。必ずライフジャケットを着ましょう。

夏の事故ゼロ
キャンペーン

（清水海上保安部）

夏の事故ゼロキャンペーン

海の事故へのお願い

海の情報はここGET!!

- 1 海で遊ぶときは必ずライフジャケットを着よう!
- 2 海で泳ぐなら海水浴場で! 危険・海象に注意して!
- 3 海の緊急ダイヤル118番 海上保安庁へ

清水海上保安部